

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あぜがみTOIRO (放課後デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者が安心してのびのびと過ごせる環境設定。	ご利用者一人一人へ温かい声かけ、対応を心掛けている。 個々の特性に合わせて、ご利用者が無理なく支援に過ごせる様な環境作り。	特性だけでなく年齢や、得意な事・苦手な事配慮し、個別対応をより充実させる。
2	特性に合わせて個別対応を柔軟に行えている。	ご利用者様本人やご家族の要望に合わせて、寄り添った支援個別に対応するよう心掛けている。	ご要望に合わせて寄り添った支援にするため、職員全員での共通意識をもって療育に向かうためのミーティングを積極的に行っていく。
3	関係機関と連携しながら情報共有を図り、家族への支援体制の充実に取り組んでいる。	関係機関と定期的に情報共有を行い、支援の一貫性を保つよう努めているとともに、家族のニーズに応じた丁寧な支援を心掛けている。	関係機関との連携をさらに強化し、より密な情報共有の充実とともに、家族の多様なニーズに対応できる支援の充実を努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置人数によりミーティングを買い浅井できるタイミングが少ない	多機能事業所の為職員が常にフル稼働状態にあり現場療育以外の後方業務に携わる時間が捻出できない。	職員の増員と、職員全体での業務分担を細かく見直していく。
2	保護者同士が交流できる機会の提供が十分に行えていない。	交流の場の実施にあたり、会場の確保及び就労している保護者への配慮を踏まえた開催日時の設定が課題となっている。	会場の確保に向けた調整を行うとともに、保護者の就労状況に配慮した開催日時の設定や、オンライン活用など参加しやすい環境作りを進めていく。
3			